

令和5年度東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点  
「グローバル共生に向けた東南アジア地域研究の国際共同研究拠点」  
年次研究成果発表会 プログラム（各演題、発表8分、質疑2分）

日時： 令和6年2月16日（金） 9時30分～17時

場所： 稲盛財団記念館3階大会議室（Zoomミーティング）ハイブリッド開催

9:30	—		開会	石川 登（京都大学東南アジア地域研究研究所）
9:30	—	9:40	所長挨拶	三重野文晴（京都大学東南アジア地域研究研究所）
9:40	—	9:50	拠点の状況報告	石川 登（京都大学東南アジア地域研究研究所）
<b>セッション 1</b>				
司会：山崎 渉（京都大学東南アジア地域研究研究所）				
9:50	—	10:00	パイロット スタディ	課題1 国立循環器病研究センター・研究補助員 的場 直輝 東南アジアにおけるマダニ媒介性感染症の環境動態調査
10:00	—	10:10	パイロット スタディ	課題2 京都大学東南アジア地域研究研究所・助教 高橋 知子 グローバルな機能主義：東日本大震災のナラティブを事例に
10:10	—	10:20	パイロット スタディ	課題3 東南アジア地域研究研究所・連携研究員 吉澤 あすな 南部フィリピン・バンサモロ暫定自治地域における移行期正義の予備的研究 —「接触領域」の紛争経験に着目して
10:20	—	10:30	パイロット スタディ	課題4 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・博士課程 金 知雲 民族宗教としての「ベトナム仏教」の普及とナショナリズム
10:30	—	10:40	パイロット スタディ	課題5 神戸大学大学院国際文化研究科・課程前期 前田 彩希 20世紀後半ジャワの古い本プリンボンから見る知 —「イルム」に潜在する宗教的複合性
10:40	—	10:50	パイロット スタディ	課題6 神戸大学大学院国際文化研究科・修士課程 日下 陽介 北タイ山地民の都市流入とコーヒービジネスの関わり
10:50	—	11:00	インキュ ベーション	課題7 大阪大学大学院人間科学研究科・教授 福岡 まどか 東南アジア現代アートの実践に関する考察—上演芸術を中心とした予備的調査
11:00	—	11:10	インキュ ベーション	課題8 京都大学東南アジア地域研究研究所・連携教授 大橋 厚子 「東南アジア型発展径路」概念の深化に向けたFieldNote Archiveの可能性：インドネシア・南スラウェシを事例として
11:10	—	11:20	インキュ ベーション	課題9 秋田大学教育文化学部・教授 林 武司 メコンデルタにおける農業の持続可能性評価に資するための水循環機構の把握手法の検討
11:20	—	11:30	インキュ ベーション	課題10 徳島大学大学院社会産業理工学研究部・准教授 内藤 直樹 東～東南アジアにおける世界農業遺産の推進に資するプラットフォームの構築
11:30	—	11:45		質疑応答（15分）
11:45	—	13:00		昼食（75分）
<b>セッション 2</b>				
司会：帯谷 知可（京都大学東南アジア地域研究研究所）				
13:00	—	13:10	インキュ ベーション	課題11 東京大学大学院総合文化研究科・教授 川島 真 地域研究に根ざしたアジア外交研究の創成
13:10	—	13:20	インキュ ベーション	課題12 広島大学大学院文学研究科・准教授 伊藤 奈保子 インドネシア・ポロブドゥールのレリーフにおける仏教美術研究
13:20	—	13:30	インキュ ベーション	課題13 京都大学学際融合教育研究推進センター・特定助教 芦 宛雪 ASEANの金融デジタル化と金融包摂
13:30	—	13:40	インキュ ベーション	課題14 京都大学東南アジア地域研究研究所・連携教授 吉川 みな子 蚊媒介性感染症の予防を取り入れた水災害のリスクコミュニケーションの改善—マレーシアペナンを例として—
13:40	—	13:50	インキュ ベーション	課題15 岡山商科大学経済学部・准教授 池田 昌弘 近代東南アジアにおける社会経済の変容と季節性
13:50	—	14:00	インキュ ベーション	課題16 鹿児島大学共同獣医学部・教授 田仲哲也 マダニ媒介性動物感染症の簡易迅速な診断法の構築
14:00	—	14:10	インキュ ベーション	課題17 名古屋大学・アジアサテライトキャンパス学院・特任准教授 富 田晋介 東南アジア大陸山地部における生態環境と生業に潜在する健康リスクの評価
14:10	—	14:25		質疑応答（15分）
14:25	—	14:35		ブレイクタイム（10分）
<b>セッション 3</b>				
司会：中西 嘉宏（京都大学東南アジア地域研究研究所）				
14:35	—	14:45	インキュ ベーション	課題18 金沢大学 国際基幹教育院 GS教育系・講師 大澤 隆将 インドネシア・リアウ州の熱帯泥炭地における氾濫原保護区の設定についての超学際的研究
14:45	—	14:55	成果発 信	課題19 甲南大学文学部・教授 中辻 亨 ラオス焼畑村落の時空間分析
14:55	—	15:05	フィール ド滞在型	課題20 立命館大学国際関係学部・教授 松田 正彦 東南アジアの脱農化パラドクスの解明に向けた道具立て—包括的枠組みの構築へ—
15:05	—	15:15	フィール ド滞在型	課題21 九州大学大学院経済学研究院・准教授 水野 敦子 コロナ禍と政変後におけるミャンマーからタイへの国際労働力移動の諸相
15:15	—	15:25	フィール ド滞在型	課題22 愛知県立大学外国語学部国際関係学科・准教授 藤倉 哲郎 東南アジア農村社会における人々の機会とリスクに関する研究枠組み構築の試み
15:25	—	15:35	資料共 有	課題23 京都大学東南アジア地域研究研究所・連携准教授 河野 元子 （代理発表：京都大学名誉教授 坪内 良博） 海峡植民地年次報告書統計資料のデータベース化とオンライン公開のこころみ
15:35	—	15:45	資料共 有	課題24 京都工芸繊維大学未来デザイン工学機構・准教授 大田 省一 （代理発表：東南アジア地域研究研究所 助教 木谷 公哉） ハノイ旧市街寺社神祠拓本から見る近代以後の都市変容に関する基礎研究
15:45	—	16:00		質疑応答・討論（15分）
16:00	—	16:10		ブレイクタイム（10分）
16:10	—	16:50		講評・ディスカッション
16:50				閉会のことば（京都大学東南アジア地域研究研究所）